稲吟OB会会報

No. 47





稲吟OB会のNo.47号をお届けします。

今年も新型コロナの影響で残念ながらOB会・現役諸行事が全て中止となっております。 本号では、稲吟会現役の活動を中心にお届けいたします。

■目次■

News Flash	
稲吟OB会会長挨拶 OB会長 松村哲郎	1
OB会会員名簿の改訂年度のお願い(登録住所に変更の有る場合)	2
2021 年度実施報告	
2021年度稲吟OB会定例総会報告	3
会員からの便り	
「稲吟OB会温泉旅行の会」終幕のお知らせ	6
現役報告	
「幹事長としてのこれまでと今後について」第67代執行部幹事長	原光希 7
第 67 代執行部のご紹介	8
現役会員紹介	8
日々の練習から学ぶこと(現役活動報告)	9
事務局よりの連絡	
会員動向・新会員	10 • 11
訃報	
年会費の納入にご協力ください	11
OB会行事への参加申し込み方法について	12

■表紙解説

大隈銅像と8号館(法学部)(2019年11月撮影)

■裏表紙解説

大隈記念講堂(2019年8月撮影)

"稲吟会(現役)は活きています!" "コロナに負けず繋がっています!"



稲吟 OB 会会長 松村哲郎

皆さん、こんにちは。

OBの方達からは、

「学生はどうしている?」 「稲吟会は大丈夫か?」 「何か支援は出来ないかな?」

現役学生を気遣い心配する、暖かい声が届いています。

現役とは今年、2022 (令和4) 年3月31日に久し振りに会いました。 場所は、新宿ライオン会館で9名が出席しました。 0Bは3名、二ノ宮副会長、本夛(旧姓・西)現役担当、松村です。 現役は6名、米倉(立教大学大学院へ)、河本(留年)、敷島(4年)、畠山(4年・女性)、原幹事長(3年)、浅井指導幹事(聖心女子大学・2年)です。 コロナに配慮しながら、なんとか実現しました。 3/31は、まん延防止等重点措置が解除された時期です。

原幹事長の話では、対面での授業は徐々に増えているとの事ですが、学部・一般授業かゼミかによって 差はあるようです。

学生会館にある部室への入室は緩和され、入室できる人数も増えています。 大学側も状況を把握しながら、柔軟に対応しているようです。

原幹事長・浅井指導幹事は詩吟の経験者です。

2日前(3月29日)には、大川先生の住む茨城県鹿嶋市へ伺い指導を受けてきたとの事です。

敷島君、畠山さんの話によると就職活動の時期は年々早くなっています。

アルバイトも出来るようになってきたようです。

9人がそれぞれ話をしましたが「現役は明るく元気だ」と感じました。

限られた時間で、席も3つのテーブルに別れて座りましたが、何か楽しく、貴重な時間を過ごしている感覚がありました。

会報が手元に届く頃には、コロナの状況が変わっているかも知れませんが、感染症ですので 必ず収束に向かうと思います。

それまでお元気でお過ごしください。

(7/10記)

以上

【新宿ライオンでの現役との交流会中止ついて】

新宿ライオンでのOBと現役(特に執行部)との貴重な顔合わせの機会となっております 交流会ですが、本年度も残念ながら中止とさせて頂きます。 会員の皆様のご理解を宜しくお願い致します。

(OB会事務局)

今年は08会の会員名簿の改訂年度です!

登録住所に変更がある場合は事務局まで連絡願います!!

稲吟OB会会員名簿は3年毎に改訂し発行しています。

前回 2019 年 11 月作成以降にOB会事務局へご連絡を頂いた会員の方の住所変更等につきましては、「会員動向」及び「新会員」に記載のとおりです。

会員の皆様におかれましては、2019年11月発行の会員名簿と、今回お届けした会報の「会員動向」「新会員」をご確認頂き、変更・訂正がありましたら本年10月15日迄に OB会事務局までご連絡願います。

OB会事務局へのご連絡方法:

稲吟会ホームページ(http://www.togin.org/)から「稲吟OB会」を選び、「早稲田大学稲吟OB会」画面の「お問い合わせ」項目から「住所等の変更」を選択して頂くと事務局宛のメール画面になります。

メール本文欄に変更・訂正の内容を記載の上お送りください。

郵送の場合には会報裏表紙記載の会報発行責任者宛にお願い致します。

2021 年度稲吟OB会定例総会報告

稲吟OB会ホームページ及びFacebook(【公式】稲吟OB会コミュニティ)にてご案内させて頂いたとおり、新型コロナウィルス感染の緊急事態宣言下における会員が集まっての定例総会開催は中止とさせて頂きました。

尚、併せてご案内させて頂いた総会時にご承認頂く必要がある項目については、ホームページ及び Facebook にて周知し、3月31日(木)迄に下記のご質問を頂きご了解頂きました。

【ご質問】

年会費の予算が400千円なのに実績が3割強増えていますが主な理由があれば教えてください。 《ご回答》

複数年度の会費を支払われる方が多いと入金額が増える場合があります。

■2021 度活動報告

8月12日 稲吟〇B会会報46号発行・年会費請求 事務局

10月23日 稲吟会令和3年度学内吟詠発表会 無観客で実施 (YouTube 開示)

■2021 年度決算報告

2021年度(2021/1/1-2021/12/31)通常会計 決算

収入の部			支出の部			
費目	予算	決算	費目	前年度決算	予算	決算
前年度繰越金	245,009	245,009	稲吟会支援	140,000	140,000	140,000
年会費*1	400,000	551,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000	60,000
記念大会特別会計より繰入	0	0	通信費	68,669	44,000	46,050
寄付金	0	0	会報製作費	27,690	30,000	27,690
雑収入	0	0	広報関係費	0	0	0
			名簿制作費	0	0	0
			行事関係費	25,733	0	0
			慶弔費	0	20,000	6,435
			役員会議費	0	0	0
			事務局経費	6,610	5,000	6,390
			関西支部支援	0	10,000	0
			振込手数料	2,860	2,000	825
		_	予備費	0	334,009	0
			次年度繰越金	245,009	0	508,619
合計	645,009	796,009	合計	576,571	645,009	796,009

※1:年会費 77人 (前年度 65人)

2021年度(2021/1/1~12/31) 特別会計 決算

収入の部			支出の部			
費目	予算	決算	費目	予算	決算	
前年度繰越金	1,672,818	1,672,818				
リーガロイヤルH予約金*	111,000	111,000	リーガロイヤルH予約金*	111,000	111,000	
利息		12	次年度繰越金	1,672,818	1,672,830	
合計	1,783,818	1,783,830	合計	1,783,818	1,783,830	

^{*65}周年記念大会の祝賀会場リーガロイヤルホテルへの前払金(予約金)は未使用で繰越し。

上記の通常会計・特別会計に関して、2月18日付にて会計監査の山田仁史氏より会の収支状況を正しく示しており、内容が真実であることの報告を頂きました。

■2022 年度活動計画(確定しているもののみ記載)

8月 稲吟OB会会報 47 発行・年会費請求 事務局 11月 稲吟OB会 2022 年 11 月現在会員名簿発行 事務局

11月19日 稲吟会令和4年度学内吟詠発表会 学生会館 B201

■2022 年度予算

2022年度(2022/1/1-12/31)通常会計 予算

	2022千尺	(4044/1/1 .	14/01/匝市五月 1	开	
収入の部			支出の部		
費目	前年度決算	予算	費目	前年度決算	予算
前年度繰越金	245,009	508,619	稲吟会支援	140,000	140,000
年会費※1	551,000	400,000	通信費補助(対稲吟会)	60,000	60,000
記念大会特別会計より繰入※2	0	0			
寄付金	0	0	通信費	46,050	150,000
雑収入	0	0	会報製作費(8月発行)	27,690	30,000
			広報関係費	0	0
			名簿制作費(11月発行)	0	30,000
			行事関係費	0	0
			慶弔費	6,435	20,000
			役員会議費	0	0
			事務局経費	6,390	5,000
			関西支部支援※3	0	10,000
			振込手数料	825	2,000
			予備費	0	461,619
			次年度繰越金	508,619	0
合計	796,009	908,619	合計	796,009	908,619

※1 会費納入80名で織込み

※2 決算での繰入額は次年度繰越金が発生しない額とする 繰入限度額は10万円とする

※3 関西支部支援は年10,000円(2021年度より)

行事関係費:現役との交流会・平成OB会開催時は予備費より支出予定

通信費:会報及び名簿発送、住所確認費用織込み

2022年度(2022/1/1-12/31)特別会計 予算

収入の部			支出の部				
費目	前年度決算	予算	費目	前年度決算	予算		
前年度繰越金	1,672,818	1,672,830	通常会計へ繰入				
リーガロイヤルH予約金	111,000	111,000	リーガロイヤルH予約金	111,000	111,000		
利息	12		振込手数料				
			次年度繰越金	1,672,830	1,672,830		
合計	1,783,830	1,783,830	合計	1,783,830	1,783,830		

■役員人事

(退任)予定なし新任)予定なし

2022 年度 役員人事案

会長	松村哲郎(S48)		
副会長	深野暢行(S53)	二ノ宮清介(S56)	澤井一樹(H2)
		全行事担当	関西支部長
会計監査	山田仁史(H1)		
事務局	深野暢行	片山 俊 (H18)	
	事務局長	会計担当	
現役担当	二ノ宮清介 (S56)	本夛(旧姓西) 奈津希	
		(H29)	
顧問	野中民蔵(S40)	松岡宣夫 (S41)	藤田和夫(S45)
	小出秀文(S48)		

「稲吟OB会 温泉旅行の会」終幕のお知らせ

OB会報No.45で旅行の報告をさせて頂きました「稲吟OB会 温泉旅行の会」が残念ながら、 会の幕を下ろすことになりました。

「稲吟OB会温泉旅行の会」は、1994年(平成6年)に昭和41年卒会の野朗会を中心として発足し、それ以降、皆さん諸兄の参加が広がり、27年の長きにわたり延べ450名のご支援をいただき、毎年いろいろな舞台で温泉旅行を楽しまれてこられました。

9月28日(水)に終幕の会を開催する予定とのことですので、次回の会報にてお届け出来ればと思います。

(OB会事務局)

「会員からの便り」では、OB・OGの皆様の卒会後の近況報告等を今後も掲載して行きたいと 事務局では思っています。

A4用紙2枚程度にまとめて頂き、出来れば関連する写真も添えてお送り下さい。 お待ちしております。

【投稿方法】

稲吟OB会ホームページのトップページから「お問い合わせ」の「OB会行事の参加」を選び、「OB会行事に参加を希望される方について」から名簿担当までメールにてお送り下さい。 郵送の場合には会報裏表紙記載の会報発行責任者宛にお願い致します。

「幹事長としてのこれまでと今後について」



日頃より、現役会員に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。 早稲田大学稲吟会第67代執行部幹事長の原光希と申します。

本年度の稲吟会は、新入生4名、二年生1名を迎えることになりました。例年、新歓活動では練習見学会を開いていましたが、今年はそれに加えて対面形式でのステージ企画に参加しました。実際に舞台に立って人前で吟じ・舞うことの楽しさや喜び、清々しさや達成感を得ることができ、改めて対面で披露することへの意義を感じました。また、対面だからこその迫力や雰囲気を通して、観ている人に吟剣詩舞の魅力を感じてもらえるこのようなイベントに、今後も参加していきたいと思っています。

新歓後は、前期納会に向けて各々の吟題を練習する日々が続きました。刀や扇について基本の扱いを 学ぶ機会もありましたが、前期は吟詠の練習を中心に活動しました。3月末には師範練として大川先生の ご自宅に伺い、ご指導していただきました。

例年の行事として、古典芸能サークル連盟の合同発表会である「和楽」は中止、明治大学詩吟研究部との交歓会は9月に延期となりました。

前期の納会・総会後は、11月の学内発表会に向けて吟詠に加えて本格的に剣詩舞の練習を始めています。 今後の予定について、まず夏合宿に関しては大学側からまだ認められていないため中止となりました。 その代わりとして7月下旬から夏季休業期間中において、師範練1回と計4回の終日練習を予定しています。

今年度の学内発表会は、11月19(土)に学生会館B201で行います。現時点では、対面形式において0Bの皆様をご招待できればと思っています。ただ、感染状況次第では今後の動向が変わる可能性もあるため、発表会に関しては改めてご連絡させていただきます。今回の発表会では、現代の曲に合わせて舞うという新たな試みにも挑戦しようと考えています。近年、コロナ禍において様々な制限が課されている中、対面で発表会が開催できることを願いつつ、できることを精一杯していきたいと思います。

私はこれまで、この早稲田大学稲吟会に出会ってから、様々な貴重な経験をさせていただいています。 今後はさらに稲吟会の活動が豊かなものになることを求めて、幹事長として尽力していく所存です。 この度は、現役会員として私にこのような文章を書く機会を与えてくださった、稲吟会 OB 会会長の松村 哲郎先輩に感謝を申し上げるとともに、OB 会の更なる発展を願い、挨拶の結びとさせていただきます。

以上

67代執行部のご紹介

第67代執行部をご紹介します。原幹事長を中心に、以下のような総勢4名の陣容です。

■第67代早稲田大学稲吟会執行部

幹 事長 原 光希 (はら こうき 社会科学部3年)

副幹事長 坂本 映美 (さかもと えみ 文化構想学部3年)

指導幹事 浅井 ももこ (あさい ももこ 聖心女子大学現代教養学部2年)

会計幹事 松本 珠慧 (まつもと たまえ 教育学部2年)

現役会員紹介



就活中の4年生会員の浅野夏那、畠山未来、敷島佑哉、五島龍一、和田泉5名以外の1~3年生の紹介です。コロナ下でOBとの交流がままなりませんが宜しくお願いします。

<写真の左上から>

浅井ももこ (指導幹事) 聖心女子大学現代教養学部2年

 松本珠慧
 (会計)
 教育学部 2 年

 坂本映美
 (副幹事長)
 文化構想学部 3 年

 原光希
 (幹事長)
 社会科学部 3 年

杉山広樹 文学部 2 年

<左下から>

村中愛理 基幹理工学部1年

山下優香 文学部1年

河田奈々 政治経済学部1年

填鍋由里子 文学部1年

現役(4年を含む現役14名)の出身地

東京4名、神奈川4名、茨城2名、埼玉1名、大阪1名、兵庫1名、福岡1名

日々の練習から学ぶこと(現役活動報告)

私はこれまで、先輩方から様々なことを学びながら日々の練習に励んできました。 しかし、今年度からは幹事長・先輩として、教えるという機会が多い中で練習に取り組んでいます。 この「教える」という機会は、私自身の成長には非常にためになる経験だなと感じています。相手に教 える・伝えることで、自身の詩の内容の理解がより深まったり、自身の練習のときには気づけなかった 発見があったりと、人に教えることが自分の成長に繋がることを日々感じています。

これまでの稲吟会では、基本的には自分の吟題をそれぞれが個人で練習する、という形式が取られていました。しかし、今年度は以前よりも上級生が新入生に指導する場面や、学年問わず同期同士で教え合う場面が多く見受けられています。個人での練習は技量の向上のためにも必要な時間ですが、併せてメンバー同士で高め合う時間も大切だなということを改めて実感しています。先輩後輩の垣根を越えて、お互いに意見し教え合い刺激を受けることで、新たな気づきを得られることを学んでいます。このような練習においてのコミュニケーションの活発化は、練習内容の質をより深いものにしていると感じます。

今年の11月の学内発表会では、「残響散歌」という現代の曲に合わせて剣詩舞を舞う予定です。7月から練習を始めており、詩吟とは歌詞、リズム、雰囲気などすべてが異なり難しさもありますが、挑戦のしがいがあり楽しく練習しています。異なるジャンルと融合することで、表現の幅が広がることに面白さも感じています。

今年度の稲吟会の活動は私にとって、幹事長・先輩という立場や練習形式の変化、新たな試みなどから 多くのことを学ぶ機会になっています。今後もメンバー同士、先輩後輩問わずお互いがお互いを高め合いながら日々の練習に励んでいきたいと思います。

(幹事長 原光希)

会員動向	(住所変更)	OB会員名簿	(2019年度版)	について、	以下を修正ください。	
新会員						
						ر ا
計報						
計報						

心よりお悔やみを申し上げます。

年会費の納入にご協力ください

会員の皆様には年会費(5,000円)の納入をお願いしております。卒業後3年間は4,000円です。まだお支払いでない方は下記の口座にお納めください。恐れ入りますが振込手数料はご負担ください。会費納入実績につきましては、稲吟 OB 会事務局会計担当(kaikei@togin.org)まで。

口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740 《他の金融機関からの振込の場合…》

ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900)、店番 019、店名 〇一九(ゼロイチキュウ)店、預金種別 当座、

口座番号 0061740、受取人名 ワセダダイガクトウギン OB カイ

年会費 5,000円

OB会関係行事への参加申し込み方法について

OB会関係行事の開催につきましては、ハガキ・稲吟OB会ホームページ・【公式】稲吟OB会コミュニティ(Facebook)でご案内していますが、現在ハガキ送付を行っていない方で行事参加を希望する場合は下記の方法で事務局までお願い致します。

井以下の Facebook 又はホームページをご利用ください。

- Facebook: 【公式】稲吟 OB 会コミュニティ
- ・ホームページ: 稲吟OB会ホームページ http://www.togin.org/

#Facebook・ホームページから行事参加を申し込みする場合の方法

- Facebook「【公式】稲吟 OB 会コミュニティ」から参加を希望する場合
 Facebook コメント欄で「参加希望」をコメントする。
- ・稲吟〇B会本ムページから参加を希望する場合

「トップ」画面の「お問い合わせ」項目から「OB 会行事の参加」を選択し「参加希望」をメールする。



発 行:2022(令和4)年8月23日 発行者:早稲田大学稲吟OB会事務局

編集発行責任者:深野暢行(稲吟OB会事務局) 早稲田大学稲吟OB会会報 通巻第47号